

豆辞典

ディアコニー ドイツプロテスタント教会社会福祉事業団の名称。
ディアコン [男奉仕者] とディアコニツセ [女奉仕者] が養成され、
信徒牧師職・職員として働く奉仕制度。ヴィヘルンが提唱した「内国
伝道」の中で生まれ発展した。

ディアコン 男性奉仕者・職員男

ディアコニツセ 女性奉仕者・職員女

ディアコナート ディアコニー職

ディアコーネンシャフト ディアコニー団

シュヴェスター ディアコニー以前の修道女(シスター)。また内国伝
道のディアコニーと並ぶ女性奉仕者、修道院以来の未婚の奉仕女

ディアコニーの起源 初代教会は信徒が財産をもちより、これを分か
ち合う「共産制共同体」を目指した。信徒数が多くなり「分配」のこ
とで問題が起こった時、弟子の中から7人を選んで日々の配給を担当
させ、説教の奉仕をなすものと役割分担をした。ここにディアコニー
の起源が求められる(使徒言行録6;1-6)

ディアコニーの基本 「わたしがあなたがたの足を洗ったのだから、あ
なたがたも互いに足を洗い合わなければならない。」(ヨハネ 13;14)

ディアコニーの課題 イエスは6つの課題を命じて言った。「わたし
が飢えていたときに食べさせ、のどが渇いていたときに飲ませ、旅を
していたときに宿を貸し、裸のときに着せ、病気のときに見舞い、牢
にいたときに訪ねてくれた。」(マタイ 25:35-39)

内国伝道 外国伝道に対して国内の社会問題を教会の課題とするドイ
ツ福音主義教会の伝道活動をさす。1848年、ヴィッテンベルク教会大
会でJ.H. ヴィヘルンが提唱し、大会の決議によってその一步を歩みだ
した。(本書 113頁) 内国伝道はラウエスハウス(児童施設)をはじめ、
障害者施設、老人ホーム、監獄、放浪者のためのユースホステルや労
働者コロニー、港湾労働者、ウエイター、鉄道ミッション、中毒患者、
移民、帰国難民援護などに力を注いできた。

J.H. ヴィヘルン 児童施設「ラウエスハウス」を創立し、内国伝道（インネレミッション）を提唱した。奉仕者を養成し、全信徒祭司制度の真の意味での実質化をめざした。（5章）

ボーデルシュヴィンク 父子 父フリードリヒは北西ドイツの都市ビーレウェルトに施設「ベートル」を創設した。子フリッツは第2次世界大戦時、当時約3千人の利用患者をヒトラーの安楽死計画から守ったことで戦後広く知られるようになった。

全信徒祭司制（万人祭司制） M. ルターは「キリスト教信徒は全て神に召されてこの世の仕事を通して神に仕える祭司である」と言った。今でいう信徒の「自発的ボランティア」を強調した。

敬虔主義 ルターの精神を、正統主義から離れて受け継いだ人たち。個々人の信仰の内的確信を重視する。時にはルター正統派からは異端視され、「この地の穏やかな人たち」（詩篇35:20）とも呼ばれた。（本書47頁、57頁）

女性の参加 戦争による男性の激減は女性の力を必要とした。看護、児童施設、幼児教育、監獄改善の分野で女性の特質を生かした女性ディアコニーを展開した。

世界教会の救援 第2次世界大戦後、崩壊したドイツ救援の中心となったのは主にアメリカに移民したルター教会信徒であった。

発展途上国援助 崩壊したドイツは、戦後救援物資に助けられた。奇蹟の経済復興により1959年には、発展途上国援助国に転換し、「世界の人々にパンを」行動、災害救援国となった。